

# 射水市下村コミュニティセンター

## ◆事業の目的

子どもたちが、夏休みの間に親子で川や池にいる川魚や水生昆虫をとらえる体験を通して、自然観察を行い、自然への親しみを深める。また、外の地区の人達と一緒に遊んで、遊び学ぶことにより未知の人達との交流の大切さを学ぶ。冬休み前には、地域の方々と学校の玄関に飾る門松を作ることにし、日本文化の伝統と奥深さを学ぶ。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月28日(土)	自然観察教室 仕掛け作り	射水市加茂中部とねりこの里	15名
8月5日(日)	自然観察教室 他地区と交流	射水市浅井地区(鴨川)	98名
8月11日(土)	自然観察教室 川魚捕らえる	射水市加茂中部とねりこの里	12名
8月18日(土)	自然観察教室 川魚捕らえる	射水市加茂中部とねりこの里	10名
12月3日(月)	門松づくり教室	射水市加茂中部下村小学校	23名

## ◆事業の様子

### ☆ 川魚捕らえの「仕掛け」づくり

長さ50cm、太さ15cm位の土管を用いて、川魚や水生昆虫が捕らえやすい「仕掛け」の作り方を講師の先生から教わり、親子で「仕掛け」を作って地区のとねりこの里の川に仕掛けました。

後日、「仕掛け」に入っていた川魚や水生昆虫を持ち寄って観察することにしました。

### ☆ 他地区との川魚捕らえ

庄川右岸の浅井地区を流れる「鴨川」で、川魚や水生昆虫を捕らえました。「鴨川」は、川の水も豊富で流れも澄んでおり、下地区の川とは違って、「あゆ、ウグイ、トミヨ」といった下村では見かけない川魚が生息しています。浅井地区の親子も一緒に加わり川魚を捕まえることを通して、親睦を深めました。

### ☆ 地元地区の水車付近の川魚捕らえ

川にある水車付近に仕掛けた土管には、川魚は入っていませんでしたが、川に入った親子が網等を使って捕らえた川魚や水生昆虫には、やご、えび、めだか、どじょうがいました。

### ☆ 地元地区の池の川魚捕らえ

池には、水生の草やハスの花などが生息しており、岸近くは、泥沼の浅瀬になっております。深い所では、「ガマガエル」が住んでおり、よく鳴いています。網を使って「フナ、どじょう、タナゴ、めだか、たもろこ、よしのぼり」等捕まえました。



## ◆事業の成果と課題

子どもたちが、親と一緒に遊んで、川魚や水生昆虫を捕らえ、自然観察を通して、自然の生態を学び、自然の大切さを感じることができました。他地区との子どもたちと一緒に遊び、学ぶ大切さも体験でき、親も改めて、ふるさとの自然を知ることができ、多めに勉強になったと思います。